

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業) (案)

協議会名: 周南市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
防長交通(株)	柳井駅前～光駅～徳山駅前	関係自治体と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。 各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRに取り組み利用促進を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 輸送量は計画値を上回り、15人/日は維持された。(輸送量+19.5人/日) 収支率はR5実績値を上回った。(+15.0%) 公的負担額は計画値を上回った。	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。 バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。
	防府駅前～新南陽駅～徳山駅前		A 計画通り事業は適切に実施された。	B 輸送量は計画値を上回り(輸送量+3.2人/日)、輸送量15人/日は維持された。 収支率はR5実績値を下回った。(▲5.3%) 公的負担額は計画値を上回った。	
	徳山駅前～中央線～下松駅北口		A 計画通り事業は適切に実施された。	B 輸送量は計画値を上回り(輸送量+17.1人/日)、輸送量15人/日は維持された。 収支率はR5実績値を上回った。(+0.4%) 公的負担額は計画値を上回った。	
	徳山駅前～徳山高校前・周南団地～下松駅北口		A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送量は計画値を上回り、15人/日は維持された。(輸送量+20.7人/日) 収支率はR5実績値を上回った。(+8.2%) 公的負担額は計画値を下回った。	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
防長交通(株)	徳山駅前～高尾団地・久米温泉口～下松駅北口	関係自治体と連携して利用し 易いダイヤ改正を実施した。 各イベントへの参加、バス乗り 方教室の開催、学生フリー乗 車券、小児運賃一律50円キャ ンペーン等PRに取り組み利用 促進を図った。 利用者の利便性を向上させる ため、バスロケーションシステ ム活用について周知を図った。 交通ICカードシステムのPRな どを積極的に行い、利用促進 に努めた。	A 計画通り事業は適切に実 施された。	B 輸送量は計画値を上回り、 15人/日は維持された。(輸 送量+9.3人/日) 収支率はR5実績値を下 回った。(▲1.1%) 公的負担額は計画値を下 回った。	引き続き、バス利用促進に繋 がるよう、ダイヤ改正等を行 い、関係市町と連携して利用し 易いバスを目指していく。 また、各イベントへの参加、バ ス乗り方教室の開催、学生フ リー乗車券、小児運賃一律50 円キャンペーン等PRを継続的 に努め、利用促進を図る。 バスロケーションシステム、交 通ICカードシステムを幅広く周 知し、新規利用者の獲得に努 める。
	徳山駅前～バイパス・記念病 院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊 毛		A 計画通り事業は適切に実 施された。	B 輸送量は計画値を上回り、 15人/日は維持された。(輸 送量+7.0人/日) 収支率はR5実績値を上 回った。(▲1.7%) 公的負担額は計画値を上 回った。	
	徳山駅前～新南陽駅・夢求の 里～コアプラザかの		A 計画通り事業は適切に実 施された。	B 輸送量は計画値を上回り (輸送量+2.9人/日)、輸送 量15人/日は維持された。 収支率はR5実績値を下 回った。(▲2.5%) 公的負担額は計画値を上 回った。	
	徳山駅前～新南陽駅・ソレー ネ・湯野～柚木河内		A 計画通り事業は適切に実 施された。	B 輸送量は計画値を上回り (輸送量+4.8人/日)、輸送 量15人/日は維持された。 収支率はR5実績値を下 回った。(▲5.2%) 公的負担額は計画値を上 回った。	

別添1-2

事業実施と地域公共交通計画等との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	周南市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域間幹線系統確保維持事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本市の市内完結路線の乗合バスの輸送実績は、令和5年度は979千人(令和4年度は1,030千人で51千人減)となり、利用者の減少傾向が続いている。</p> <p>利用者の減少により、事業者の経営状況が悪化し、赤字路線の廃止や運行回数の減少等、サービスの低下を招き、それがまた利用者離れを起こすという悪循環が生じている。</p> <p>また、令和6年4月から、働き方改革関連法施行により時間外労働の上限(休日を除く年960時間)規制等が適用される、いわゆる2024年問題により、運転士不足がますます深刻化し、公共交通の維持、確保が非常に難しくなっており、路線の見直し等をせざるを得ない状況となっており、乗合バス事業者においては、極めて厳しい経営環境に直面する中、事業の継続に向けた取組が喫緊の課題となっている。</p> <p>学生、高齢者や障害者などのマイカーを持たない、あるいは、利用することができない人々にとっては、通勤、通学、買い物や通院などの社会生活をおくるにあたり、安全・安心・快適な交通手段の確保・維持は極めて重要である。</p> <p>さらに、近年は都市圏郊外においても急速に高齢化が進んでおり、地域の公共交通であるバス系統の維持・確保が必要不可欠であり、既存バス路線の見直しと合わせた効率的で、利便性の高い持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向け、地域公共交通確保維持事業に取り組む必要がある。</p> <p>今回、認定申請する地域間幹線系統は、地域の中核的な医療機関や学校、市役所支所等の公共施設など利用者のニーズに対応しているものである。</p> <p>今後も、市民が安心して社会生活をおくり、積極的に社会参加でき、活力ある地域へとつながるよう、地域間幹線系統を含めた全体的なバス路線の確保・維持に引き続き努める。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

協議会名: 周南市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持事業(車両減価償却費)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
防長交通(株)	<p>ノンステップバス 28両導入(うち周南市関係路線15両)</p> <p>令和3年度導入分=5両 令和4年度導入分=5両 令和5年度導入分=6両 令和6年度導入分=6両 令和7年度導入分=6両(うち周南市関係路線分2両)</p> <p>・柳井駅前～光駅～徳山駅前 ・防府駅前～新南陽駅～徳山駅前 ・徳山駅前～中央線～下松駅北口 ・徳山駅前～徳山高校前・周南団地～下松駅北口 ・徳山駅前～高尾団地・久米温泉口～下松駅北口 ・徳山駅前～バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛 ・徳山駅前～新南陽駅・夢求の里～コアプラザかの ・徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・湯野～柚木河内</p>	計画通りノンステップ型車両の導入が図れるよう努めた。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 令和7年9月末時点で、ノンステップ型車両比率が69.7%(124両)となった。	今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。

事業実施と地域公共交通計画等との関連について

令和 年 月 日

協議会名：	周南市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域間幹線系統確保維持事業(車両減価償却費)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<ul style="list-style-type: none">・車両の平均使用年数は約20年と長期化しており、運行を維持する為には老朽車両の代替を進めていく必要がある。・老朽車両の代替が滞ると、使用可能車両の減少を理由とした路線廃止や減便といった事態が発生し、地域住民の日常生活等に大きな影響を及ぼす可能性もある。・地域間幹線系統を含めた全体的なバス路線の維持またバリアフリー化を促進するためにも、老朽車両を代替することの必要性は極めて高いものと考えている。

事業者名	防長交通株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(令和7年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考
						計画	取組実績	
周南市地域公共交通会議	1	柳井駅前 徳山駅前	柳井駅前	光駅	徳山駅前	【取組内容及び実施時期】 全国相互利用可能なICカードシステムの利用促進・周知徹底 【実施主体】 防長交通(株) 【効果目標】 上記の取組により、バス利用者の移動利便の向上を図り、収支率を1%増加させる。	【取組実績】 交通系ICカードシステムの利用促進を行い、移動利便の向上を図った。 【取組効果】 上記の取り組んだ結果、申請番号1は、経常収益が3,496千円減少した為、収支率が51.1%(-8.9)に減少した。 申請番号2は、経常収益が1,237千円減少した為、収支率が47.8%(-7.0)に減少した。 申請番号6は、経常収益が4,874千円増加した為、収支率が89.9%(+3.9)に増加した。 申請番号7は、経常収益が7,342千円増加した為、収支率が101.8%(+14.4)に増加した。 申請番号8は、経常収益が2,953千円増加した為、収支率が88.1%(+2.9)に増加した。 申請番号9は、経常収益が3,578千円増加した為、収支率が56.0%(+3.5)に増加した。 申請番号10は、経常収益が7,168千円増加した為、収支率が42.9%(+6.3)に増加した。 申請番号11は、経常収益が3,988千円増加した為、収支率が59.2%(+4.3)に増加した。	【今後の方向性】 より多くの方に交通系ICカードシステムをPRし、幅広く周知を図る。
	2	防府駅前 徳山駅前	防府駅前	新南陽駅	徳山駅前			
	6	徳山駅前 下松駅北口	徳山駅前	中央線	下松駅北口			
	7	徳山駅前 下松駅北口	徳山駅前	徳山高校前・周南団地	下松駅北口			
	8	徳山駅前 下松駅北口	徳山駅前	高尾団地・久米温泉口	下松駅北口			
	9	徳山駅前 ゆめプラザ熊毛	徳山駅前	バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地	ゆめプラザ熊毛			
	10	徳山駅前 コアプラザかの	徳山駅前	新南陽駅・夢求の里	コアプラザかの			
	11	徳山駅前 柚木河内	徳山駅前	新南陽駅・ソレーネ・湯野	柚木河内			

[記載要領]

- この書類は、地域公共交通計画の策定主体である活性化法定協議会と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、地域公共交通計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、地域公共交通計画に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績欄には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

周南市地域公共交通会議 生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統)の概要

周南市地域公共交通会議の構成員

周南市、山口運輸支局、防長交通(株)、西日本旅客鉄道(株)、大津島巡航(株)、徳山地区タクシー協会、市民・利用者代表、私鉄中国地方労働組合防長交通支部、周南警察署、光警察署、中国地方整備局、山口県、福祉関係事業者、学識経験者

協議会の開催状況

5回 (うち書面審議 2回)

【事業の目的・必要性】

市内の路線乗合バスの利用者は減少傾向が続いている。また、運転手不足がますます深刻化し、赤字路線の廃止や運行回数の減少等、路線の見直し等をせざるを得ない状況となっている。

地域間幹線系統は、地域の中核的な医療機関や学校、市役所等の公共施設など利用者のニーズに対応しており、マイカーを利用できない人々を含む市民が安心して社会生活をおくり、積極的に社会参加ができ、活力ある地域へつながるために確保・維持をする必要がある。

【事業の区域】

周南市全域

【事業の目標と効果】

(目標)

- ・利用者数については、周南市を通るすべての運行系統について計画目標値(令和7年度)の達成を目指す。
- ・路線バスの収支率については、令和5年度実績値から1%以上改善する。
- ・路線バスの公的負担額については、計画目標値(令和7年度)の達成を目指す。
- ・老朽車両の代替として、超低床ノンステップバスを予定しており、令和7年度9月末までに75%以上(134両)とする。

(効果)

- ・地域間幹線バス系統を維持することにより、地域で生活する移動制約者の生活に必要な不可欠な交通手段が確保される。
- ・広域的・幹線的系統と地域的・視線的系統の有機的な連携により、効率的な地域交通網が形成され、市民の社会参加促進や地域活性化にもつながる。
- ・定量的な事業目標を導入することにより、バス利用者の増加と効率的な運行を促進し、地域のサービス水準を維持・向上することが期待できる。

周南市	令和7年度分	
事業者数	系統数	車両減価償却費 車両数
1	8	15(2)

* 車両減価償却費車両数の()は、当該年度に購入した車両数(内数) -7-

この1年間の 利用者・地域住民の意見の反映

○実際の利用状況や周南市地域公共交通会議等で地域住民等からの意見を聴取し、事業者、市町と連携して、運行システムの改善・見直し等を実施。

<対応>

・利用状況を踏まえ、徳山駅～柳井駅線の一部便において大型車での運行を増やすことで、雨天時等の車内混雑緩和を図った。

・利用者の利便性向上のため、防長交通の路線バスの経路検索ができるようGTFSデータ整備を図った。

・バスロケーションシステムや交通系ICカード導入後のPRに努めている。

・地域住民のニーズに沿ったダイヤ設定や利用実態に即した効率的なダイヤ編成に努め、利便性の向上及び経常収支率の改善を図っている。

・利便性の高い公共交通の構築を図るため、バスのみではなく、あらゆる交通モードが連携し、利用者ニーズに対応している。

・低床バスの導入については、高齢化が進む利用者の安全性及び利便性が向上することから、引き続き計画的に導入していく。

事業の適切性

○事業は概ね計画通り、適切に実施された。

目標・効果達成状況

○目標・効果達成状況はおおむね達成した。

- ・評価A: 1系統
- ・評価B: 7系統

○車両購入については、計画に沿った低床車両の導入が図られた。

今後の改善点

○バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用しやすいバスを目指していく。

○各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。

○バスロケーションシステム、交通ICカードシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。

○今後も引き続き、計画どおりノンステップバスの導入を進めていく。

バス利用者の利便性向上のための取組

GTFSの整備により、各種交通サイト・アプリでバス路線経路検索が可能となった

○利用者の利便性向上のため、各種交通サイト・アプリでバス路線経路の検索ができるよう防長交通のGTFSデータの整備を行った

○通常バスを利用しない人や、普段使わない区間を利用する人にも、公共交通手段としての情報が手に届きやすくなることを期待

防長交通・防長観光バス

English RECRUIT
採用情報

トップページ 路線バス 高速バス 貸切バス 会社案内 お問い合わせ

Google Mapで当社バスの経路検索ができるようになりました。

「お知らせ」 2025-10-16

このたびGoogle Mapで当社バスの経路検索ができるようになりました。
出発地や目的地を入力していただくと、時間帯毎に最適な経路を検索することができます。